

クリースビータ®に関するお問い合わせ先

## 協和キリンくすり相談窓口

お電話の内容を正確に承るため、また、対応品質の維持・向上のため、通話を録音させていただいております。あらかじめご了承ください。

☎ 0120-850-150

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日および弊社休日を除く)

※症状や治療に関する内容は、医師または薬剤師にご相談ください。

### WEBサイト「くるこつ広場」のご紹介

FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症の患者さんご家族の方へ向けた情報サイトです。



くるこつ広場 骨軟化症

<https://www.kurukotsu.com/>



スマートフォンで  
読みとりください

協和キリン株式会社

CRV1012  
2020年12月作成

# クリースビータ®の自己注射を行う 患者さんご家族の方へ

## 自己注射 ガイドブック

監修

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 岡山済生会総合病院  
小児科 診療顧問

田中 弘之 先生

## はじめに

このガイドブックは、クリースビータ®による治療を受ける患者さんとそのご家族の方に、クリースビータ®の保管と自己注射の方法を記したものです。自己注射を開始する前に、このガイドブックをよくお読みになり、主治医または医療スタッフからトレーニングを受けてください。

ご自宅での自己注射を希望される場合、トレーニング中を含め、必ず一度は病院内で自己注射を実施していただきます。

また、このガイドブックの「クリースビータ®の保管」「注射器の廃棄、バイアルの回収」、「自己注射日誌」を参考に、ご自宅での管理方法について説明を受けてください。

あなたのお子さんをご自身で投与される場合は、お子さんも自己注射のトレーニングを受け、管理方法について説明を受けてください。



**自己注射は、病院内で主治医または医療スタッフからトレーニングを受け、患者さんご自身またはご家族が確実に投与できることを確認してから実施可能になります。**

## 目次

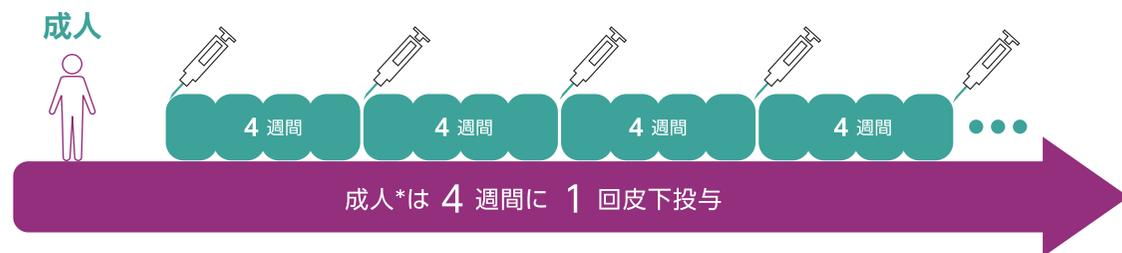
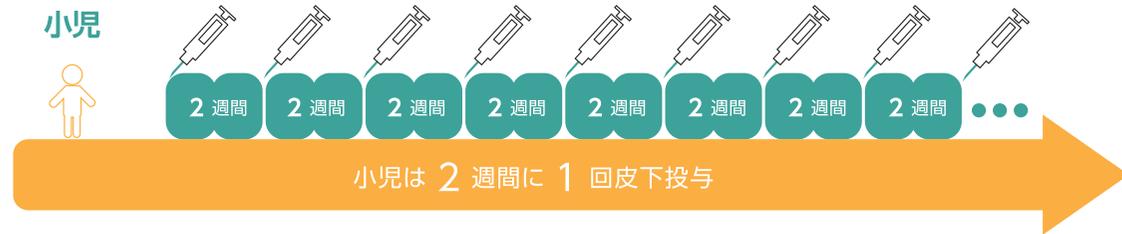
クリースビータ®について	3
スターターキットについて	4
クリースビータ®の保管	5
クリースビータ®をお使いいただく前に 皮下注射について	6
注射の準備	7
皮下注射を行う部位	12
皮下注射の仕方	14
ご家族の方がお子さんに注射する場合	15
注射器の廃棄、バイアル及び空き箱の処理	18
投与中に特に注意すべき副作用	20
自己注射日誌	21
自己注射についての Q&A	22



# クリーズビータ®について

**クリーズビータ®とは**  
クリーズビータ®は、「ヒト型抗FGF23モノクローナル抗体」と呼ばれる薬剤で、注射薬（皮下注射）です。  
「FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症」の治療薬です。

**クリーズビータ®の注射スケジュール**  
クリーズビータ®は、小児では2週間に1回、成人\*では4週間に1回、皮下投与します。



\*骨年齢が男性で17歳、女性で15歳に達した場合は、主治医の判断に応じて成人の用法及び用量を用います。

# スターターキットについて

クリーズビータ®の自己注射をはじめるとあって、スターターキット（トートバッグ）が手渡されます。中身を確認しましょう。

**スターターキットの内容物**  
トートバッグの中に、以下のものが入っていることをご確認ください。



※1 保冷バッグにはクリーズビータ®のバイアル（個装箱入り）が最大12本入ります。一度に13本以上持ち帰る場合には、予備の保冷バッグをご準備いたしますので、主治医または医療スタッフにご相談ください。

※2 保冷剤は、冷凍庫に入れて凍らせ、次の処方日には忘れずに保冷バッグに入れて病院に持参してください。

- クリーズビータ®（バイアル）は2～8℃で保管します。そのため、持ち運びの際は必ず保冷バッグを利用し、保冷剤で適正温度を保ってください。
- クリーズビータ®（バイアル）は箱から取り出さずに、バイアルの箱ごと保冷バッグに入れましょう。
- ご自宅に戻られましたら、保冷バッグからクリーズビータ®（バイアル）を取り出し、箱のまま冷蔵庫で保管しましょう。

※ 投与の際に使用する、注射器・アルコール綿・バイアル回収袋については主治医または医療スタッフの指示に従ってご準備ください。



直射日光の当たる場所や、高温多湿の場所に置かないでください。  
車の中に放置することも避けましょう。

## クリースビータ®の保管

 クリースビータ®は、冷蔵温度を維持するため、保冷バッグに入れて速やかにご自宅にお持ち帰りください。

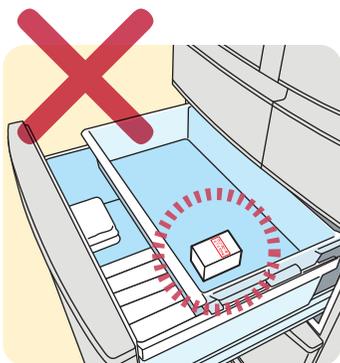


ご自宅では、保冷バッグから箱を取り出し、速やかに箱のまま冷蔵庫に入れて、使用するまでそのまま保管してください。また、他のご家族にも薬剤であることを説明し、特に小さなお子さんの手が届かないようご注意ください。



### 【クリースビータ®の保管についてのご注意】

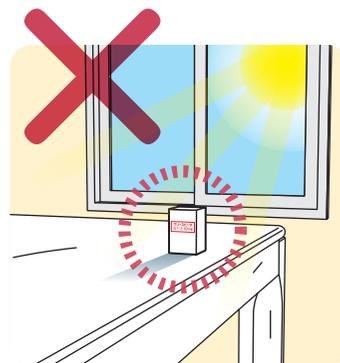
- 冷気の吹出口付近や冷凍庫、チルド室には保管しないでください。
- 一度凍ってしまったクリースビータ®は使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に置いたり、車の中に放置することは避けてください。
- 注射の準備ができるまで、箱からバイアルを取り出さないでください。
- 使用期限の過ぎた薬剤は使用しないでください。
- 何らかの理由で薬剤を使用しなかった場合は、主治医までお問い合わせください。



冷凍庫



チルド室



直射日光の当たる場所

## クリースビータ®をお使いいただく前に皮下注射について

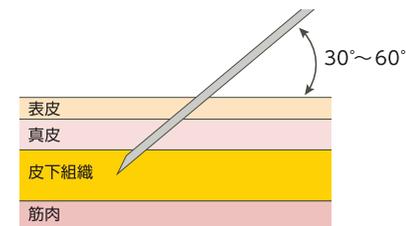
クリースビータ®は、患者さん毎に適した量で投与する皮下注射剤です。



### 皮下注射とは

皮膚と筋肉組織の間にある「皮下組織(皮下脂肪)」に行う注射を「皮下注射」といいます。

皮下注射には、皮下脂肪の厚みがあって柔らかく、神経や血管、骨や関節などから離れている部位及び場所(腹部、大腿部、臀部など)が適しています。



一般的に、皮下注射では約30°~60°の角度で、注射針の2分の1から3分の1程度の深さまで注射針を刺します。

ただし、注射針を刺す角度や深さは皮下脂肪の厚さによって異なります。

詳しくは主治医の指示に従ってください。



### 皮下注射の仕方

1

皮膚を、軽く持ち上げるようにつまみます。このとき力を入れすぎると、筋肉までつまんでしまい、針が筋肉まで届いてしまうので、軽くつまんでください。

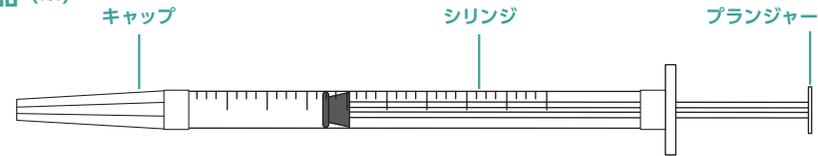
2

注射針が皮下組織に届くように、つまんだ皮膚の真ん中に針を刺します。針を刺す角度や深さは主治医の指示に従ってください。

# 注射の準備

## ～準備するものの名称～

### 注射器 (※)



※注射器は、医療機関の指示に従ってご準備ください。

ここでは、注射針の付いた一体型のシリンジを使う方法を紹介しします。病院によっては、注射針とシリンジが別々に提供されている場合もあります。詳細は主治医または医療スタッフの指示に従ってください。

## バイアル (患者さんによって異なります)



クリースピーター®皮下注  
10mg



クリースピーター®皮下注  
20mg



クリースピーター®皮下注  
30mg



### 【注射の準備についてのご注意】

- バイアルを電子レンジや湯せんで温めないでください。温めてしまった場合は使用しないでください。
- バイアルを振らないでください。
- バイアルを長時間放置しないでください。長時間室温で放置した場合、そのバイアルは使用しないでください。
- 薬液に異物が入っていたり、濁ったり変色していた場合、そのバイアルは使用しないでください。

## 注射の準備

1

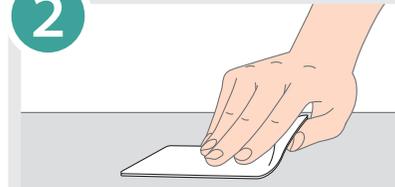


### 冷蔵庫から出す

冷蔵庫から必要な本数分の箱を取り出し、直射日光が当たらない場所で、室温に戻します。

※外箱に表示されている使用期限を確認し、期限が過ぎているものは使用しないでください。

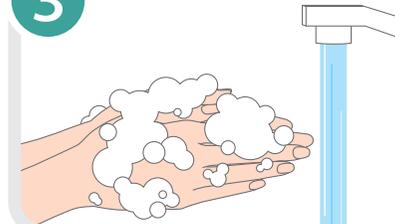
2



### テーブルをふく

テーブルなどの明るくて平らな場所を見つけ、その上をアルコール綿等でよくふいてください。

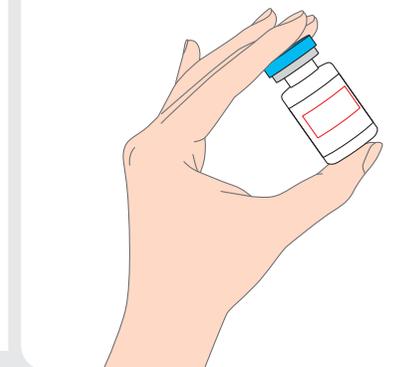
3



### 手を洗う

両手を石けんなどでいねいに洗ってください。

4



### バイアルを確認する

バイアルのふたをあけずに、次の点を確認してください。

- 異物が入っていないか
- 薬液は無色透明か
- 保護キャップやふたなど、外装の破損がないか

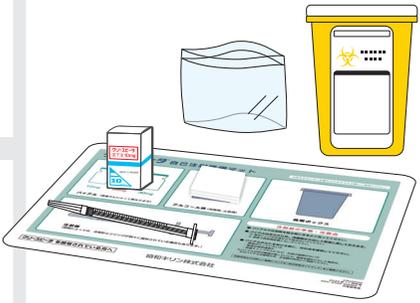
※バイアルの中の薬液が濁っていたり、異物を認めたりした場合は、そのバイアルは使用せず、主治医にご相談ください。

# 注射の準備

**5**

**準備マットをセットする**  
準備マットをセットし、以下のものを置いてください。

- バイアル
- アルコール綿
- 注射器
- 廃棄箱
- バイアル回収袋



**6**

**バイアルの消毒**  
バイアルの保護キャップを外し、ゴム栓をアルコール綿でふいて消毒します。注射器の包装も開封します。

※消毒したゴム栓部分は触らないようにしてください。

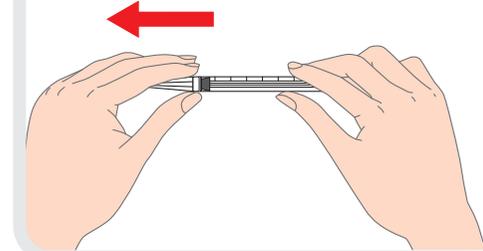


**7**

**針のキャップを外す**  
針の付いた注射器を水平にして、針に付いているキャップを針先が指やテーブルなどに触れないよう、まっすぐに外します。

※キャップを外す際には、ねじらず、まっすぐに外してください。  
※外すときに針がご自分の指などに刺されないよう十分に注意してください。

キャップはまっすぐに引く



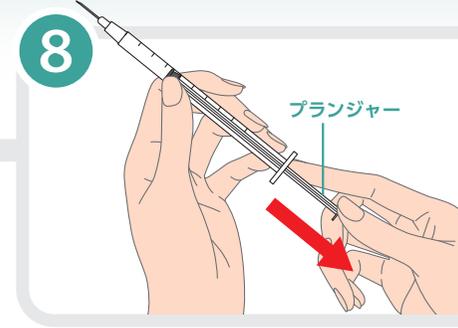
**【 注意：バイアルは振らないでください 】**

- たんぱく質製剤のため、薬液を振ると気泡が生じやすくなっています。
- バイアル内の薬液を泡立てないように、薬液はゆっくりと吸ってください。



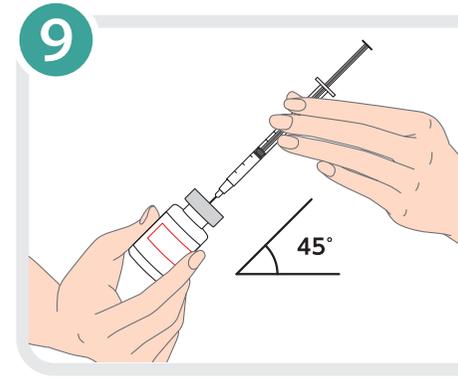
**8**

**プランジャーを引く**  
プランジャーを引き、投与量と同じ量の空気を注射器に吸入します。



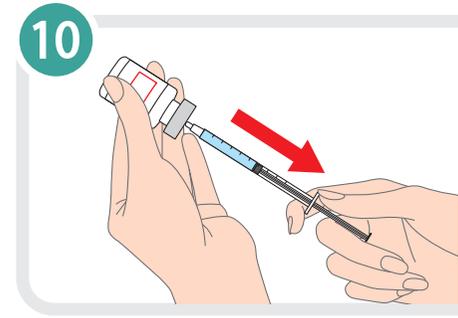
**9**

**バイアルに注射針を刺す**  
注射器とバイアルを45°の角度に持ち、ゴム栓からバイアル内に注射針を挿入します。  
薬液が泡立たないように、針を薬液に浸けない状態で、シリンジ内の空気をバイアル内に押し出してください。



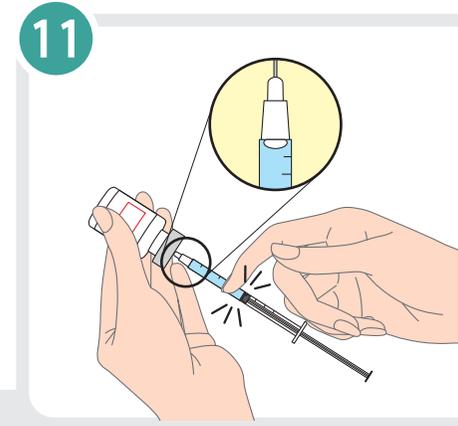
**10**

**薬液を吸い取る**  
バイアルと注射器を逆さにし、注射針の先が薬液中に入っていることを確認してから、泡立ないようにゆっくりとプランジャーを引き、正確な量を吸い取ります。



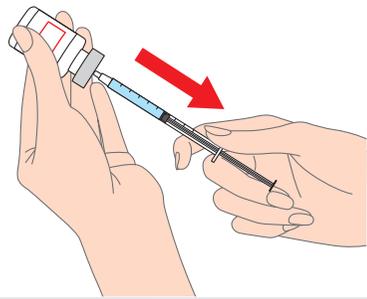
**11**

**気泡がないか確認する**  
バイアルから注射器を抜く前に、気泡が入っていないか確認します。  
注射器内に気泡がある場合は、針を上に向けて注射器を持ち、気泡が上部にくるまで側面を軽くはじきます。すべての気泡が上部に集まったら、プランジャーを軽く押し、気泡をバイアル内に押し戻します。



## 注射の準備

12

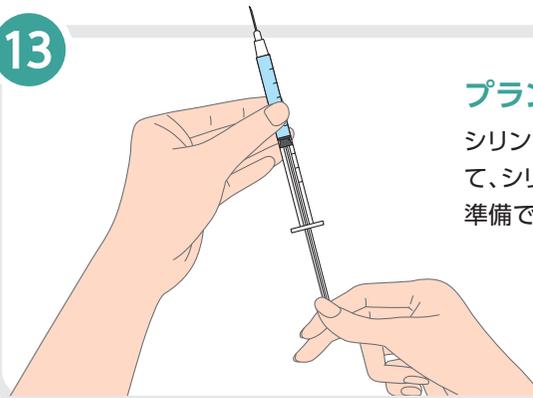


### 注射器を抜く

気泡がなくなったら、注射器内の薬剤の量を確認し、必要な量を吸い取ったことを再度確認して、バイアルからシリンジを持ちながら注射器を抜きます。

※注射部位1箇所あたりの最大投与量は1.5mLです。

13



### プランジャーを軽く押す

シリンジの針先を上に向けてプランジャーを軽く押し、シリンジ及び針先の中の空気を抜き、正確な用量が準備できたことを確認します。

### 【注射器の取り扱いについてのご注意】



- 針及び注射器が破損する恐れがありますので、キャップをねじったり、曲げたりしないでください。
- 一度キャップを外した注射器には、キャップを付け直さないでください。

## 皮下注射を行う部位（場所）

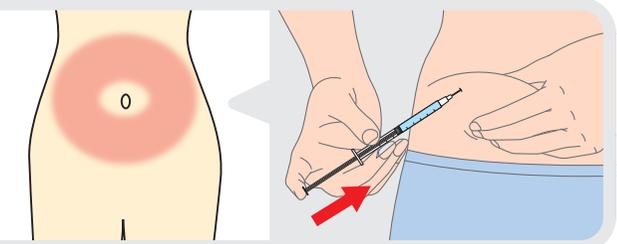
クリースビータ®は、「腹部」、「大腿部（太もも）」のいずれかに皮下注射します。ご家族の方が皮下注射される場合には「上腕の外側」や「臀部（おしり）」にも注射することができます。

注射部位については、主治医ともご相談ください。

また、つまみ上げた指と指の幅が1cm以上ある場所を選んでください。

### 腹部

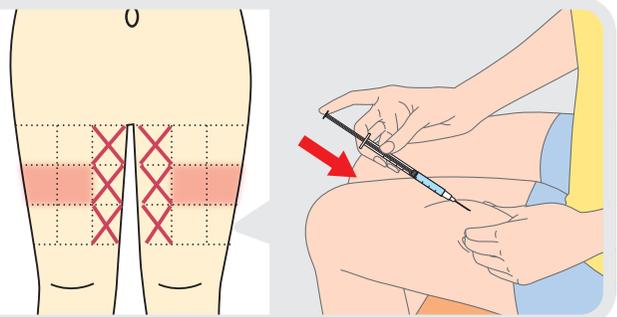
※へそまわりの約5cmを除く



### 大腿部（太もも） の上部（前側）

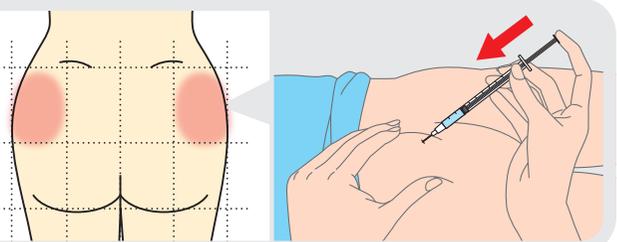
※内ももには注射しないでください。

皮下注射に適した場所 × 皮下注射をさける場所



### 臀部（おしり） の上方外側

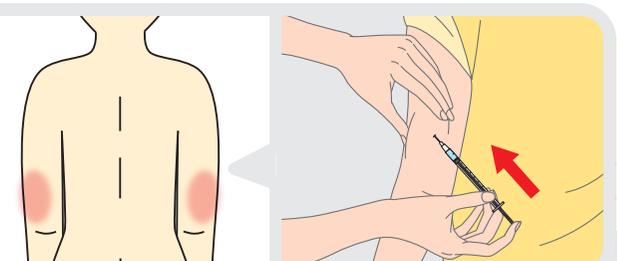
※ご家族が注射される場合のみ



### 上腕（二の腕）の外側

※ご家族が注射される場合のみ

上腕には「とうこつ橈骨神経」が通っていますので、注意が必要です。詳しくは17ページをご覧ください。

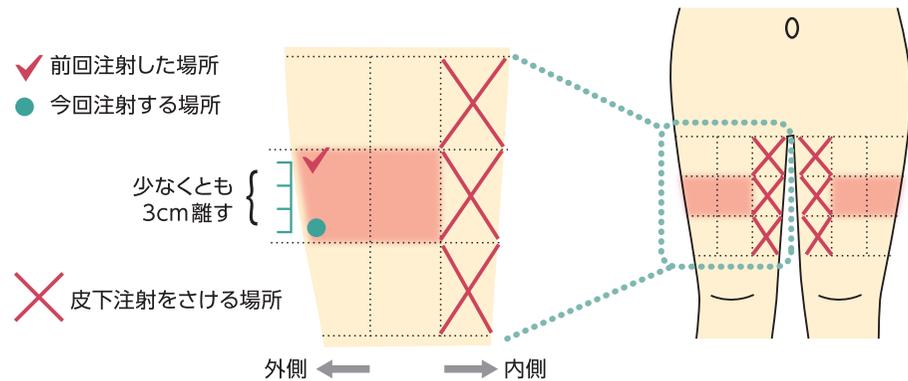


# 皮下注射を行う部位（場所）



## 【皮下注射を行う部位についてのご注意】

- 皮下注射前に消毒した部位は、注射針を刺す前に手を触れないでください。注射のために皮膚を手でつまむ際は、針を刺す部分に触れないように注意してください。
- 盛り上がっているところ、痛みのあるところ、赤くなっているところ、傷があるところ、硬くなっているところ、ほくろやできものがあるところには注射しないでください。
- 皮下注射を行う部位は毎回変更してください（少なくとも3cm離してください）。



- 前回注射した部位を確認できるように、注射日誌に注射した部位と日時を記載しておいてください。

# 皮下注射の仕方

投与量に応じて、注射する部位を変えて①～⑥を繰り返してください。

皮下注射を行う部位は毎回変更してください（少なくとも3cm離してください）。

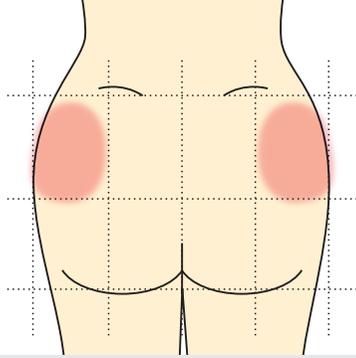
	<p><b>① 消毒する</b> 注射する部位を、円をえがくようにアルコール綿でふいて消毒します。</p>	<p>※皮下注射前に消毒した部位は、注射針を刺す前に手を触れないでください。</p>
	<p><b>② 注射部位をつまむ</b> 消毒した部位の皮膚を利き手と反対の手で軽くつまんでください。</p>	<p>※注射のために皮膚を手でつまむ際は、針を刺す部分に触れないように注意してください。</p>
	<p><b>③ 皮膚に刺す</b> 注射の針を皮膚に対して斜め(30°～60°)にして、皮膚に刺してください。</p>	<p>※注射針を刺したときに痛みやしびれがあった場合は速やかに針を抜き、痛みやしびれが軽減するか、確認しましょう。 ※針を抜いた後も痛みやしびれが軽減しない場合は、主治医にすぐに連絡してください。</p>
	<p><b>④ プランジャーを押す</b> 注射器をしっかり持って、ゆっくりと、10秒以上時間をかけて、最後までプランジャーを押し切ってください。</p>	<p>※30秒ほどを目安にゆっくりと押ししてください。 ※注射針を抜くまで、皮膚はつまんだままにしてください。</p>
	<p><b>⑤ 注射器を抜く</b> 注射器の中の液体が空になったら、注射器を刺したときと同じ角度で、注射器を抜きます。</p>	<p>※使用済みの注射器は、すぐに廃棄箱に捨ててください。 ※キャップを付け直さないでください。</p>
	<p><b>⑥ 静かに押さえる</b> 注射器を抜いたら、その部分をアルコール綿で静かに5分程度押さえます。アルコール綿を外して、血が出ていないことを確認したら注射は終わりです。</p>	<p>※注射した部位をもむとはれることがありますので、もまないでください。</p>

# ご家族の方がお子さんに注射する場合

年齢の小さなお子さんの場合は、ご家族の方が上腕(二の腕)、臀部(おしり)、太ももなどの部位(場所)に注射します。同じ場所に続けて注射すると皮膚が硬くなったり、注射しにくくなったりしますので、前回と違う場所(少なくとも3cm離れた場所)を選ぶようにしてください。

## 1...臀部(おしり)に注射する場合(ご家族の方が注射する場合のみ)

### 注射する部位(場所)



臀部(おしり)に注射する場合には、上方外側に注射します。  
おしりへの皮下注射は、的が広い、皮下脂肪が腕などに比べてやや厚い、小さなお子さんにとっては注射器が見えない、などの利点があります。

### 臀部(おしり)に注射する場合のお子さんの抱え方の例(ご家族の方がお二人で協力して注射する場合など)

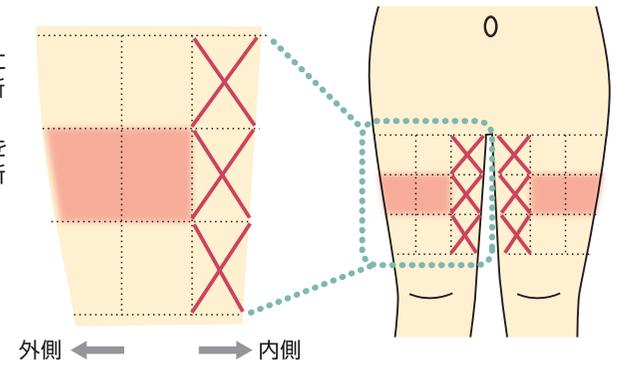


お一人が膝の上でお子さんをうつぶせにし、身体を軽く押さえます。  
もうお一人が注射をします。

## 2...大腿部(太もも)の上部に注射する場合(ご家族の方が注射する場合)

### 注射する部位(場所)

- 皮下注射に適した場所
- 皮下注射をさける場所



大腿部に注射する場合には、中央外側(前側)に注射します。  
※内ももには注射しないでください。

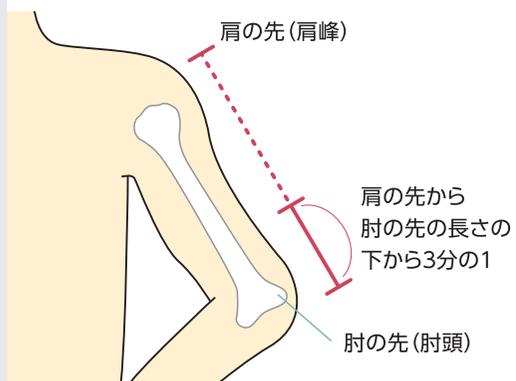
### 大腿部(太もも)に注射する場合のお子さんの抱え方の例(ご家族の方がお二人で協力して注射する場合など)



お一人がお子さんを膝の上に乘せ、身体を軽く押さえます。  
もうお一人が注射をします。

### 3...上腕(二の腕)の場合 (ご家族の方が注射する場合のみ)

#### 注射する部位(場所)

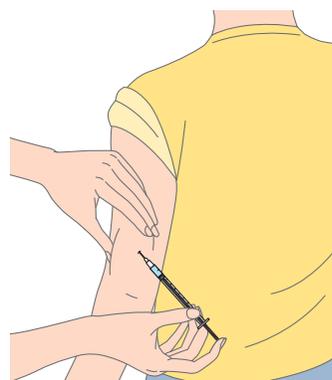


上腕(二の腕)に注射する場合には、肩の先(肩峰)から肘の先(肘頭)までの長さの、下から3分の1の範囲に注射します。これは、二の腕を通っている神経(橈骨神経)を傷つけないようにするためです。詳しくは、主治医の指示に従ってください。

#### 上腕に注射する場合のお子さんの抱え方の例 (ご家族の方がお二人で協力して注射する場合など)

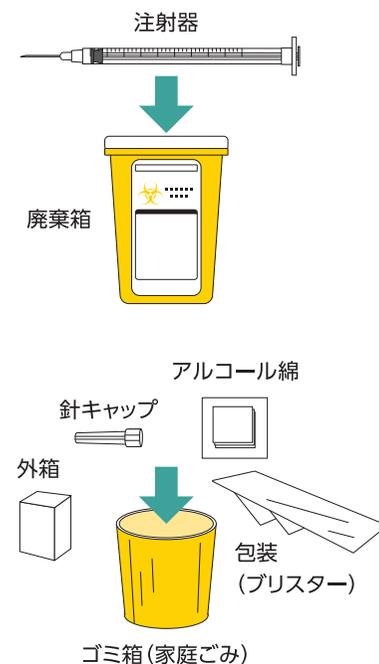


年齢の低いお子さんの場合、抱きかかえて肩と肘をしっかりと押さえてください。  
もうお一人が注射します。



抱きかかえなくても注射できる場合には、お子さんを椅子に座らせて注射します。

### 注射器の廃棄



- 1 使用済みの注射器や、破損などにより使用できなかった注射器は、取り扱いに十分注意し、必ず専用の廃棄箱に捨ててください。
- 2 廃棄箱の3分の2程度まで使用済みの注射器を入れたら、次の通院時に返却して、新しい廃棄箱と交換してください。
- 3 注射を全量投与できなかった場合、その注射器は廃棄箱に捨てて、注射日誌に、全量投与できなかった理由を記載してください。また、投与できた液量が見える場合は、「投与できなかった理由など」の部分に記入してください。
- 4 アルコール綿及び注射針のキャップは、特に指示がない限り、家庭ごみとして各市町村の収集方法に従って捨ててください。

※一度使用した注射器を再利用しないでください。  
※いったん廃棄箱に入れた注射器は、絶対に取り出さないでください。

### バイアルの回収



- 1 使用済みのバイアル、保護キャップは廃棄用の袋(バイアル回収袋)に入れてしっかり封をし、次の来院時にお持ちください。
- 2 使用しなかった(凍った可能性がある場合、室温で長時間放置した場合など)バイアルは箱に戻し、未開封の箱と別に保管して、次の来院時にお持ちください。

※バイアル回収袋はビニール袋など医療機関の指示に従ってご準備ください。  
※注射器は、バイアル回収袋ではなく、必ず専用の廃棄箱に捨ててください。  
※使用後にバイアルに残った薬は、バイアルごと回収袋に入れてください。



### 【注射器の廃棄・バイアルの回収についてのご注意（その他）】

- 注射後は針先を振ったり、針にキャップを付け直したりしないでください。
- 家庭用ごみ箱に、注射器や注射器の入った廃棄箱を捨てないでください。
- 事故を防ぐため、廃棄箱は必ず小さなお子さんの手の届かないところに保管してください。
- 未開封の薬剤がある場合、箱に入れたまま冷蔵庫に保管しておき、次回来院の際に冷蔵温度を維持するため、保冷バッグに入れてお持ちください。この時、あらかじめ冷凍庫で凍らせた保冷剤も一緒に入れてください。

※廃棄方法は医療機関によって異なる場合がありますので、医療機関の指示に従ってください。

クリースピータ®の投与中に特に注意すべき副作用として、以下があります。

- 高リン血症※<sup>1</sup>
- 注射部位反応(発疹・そう痒・疼痛等)
- 過敏症※<sup>2</sup>

クリースピータ®を投与している間に、「いつもと何か違う」「お子さんの様子がおかしい」と感じたら、速やかに病院に連絡してください。

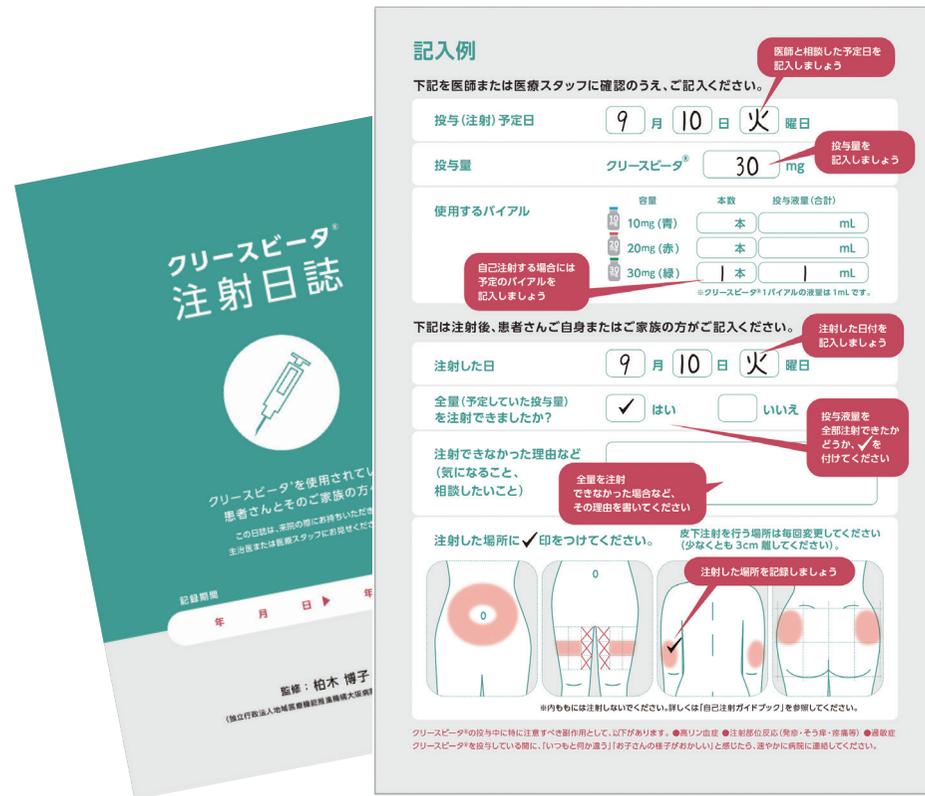
※<sup>1</sup> 高リン血症の発現の有無を確認するために、定期的に血液検査（血清リン濃度）が行われます。

※<sup>2</sup> 過敏症の症状として、次のような症状が現れることがあります。

### 代表的な過敏症(アレルギー反応)の部位と症状

部位	症状
皮膚	全身のかゆみ、じんましん
口や喉	喉のかゆみ
全身	ふらつき
胸部	動悸、息苦しい

クリースピーター®を自己注射される方には、「注射日誌」をご記入いただきます。



- 自己注射した日付、注射した部位、注射した人などを記録します。次の注射予定日を忘れて、同じ部位に注射してしまったりすることを防ぐことができます。
- 「次回来院予定日」、「注射の予定日」、「投与液量」及び表中の「バイアル」、「投与液量」については、主治医または医療スタッフの方に記入いただけてください。
- その他の部分は、患者さんご本人、もしくはトレーニングを受けたご家族の方が記入してください。
- 「予定投与量を注射できた」の欄に、注射器ごとに投与状況を記録します。予定投与量を注射できなかった場合、「いいえ」をチェックして、その理由を「注射できなかった理由など」に記載してください。また、投与できた液量がわかる場合は、「注射できなかった理由など」の部分に記入してください。
- 主治医または医療スタッフが記載内容を確認できるよう、通院時には毎回必ず注射日誌をお持ちください。
- 記載方法に関して質問がある場合、主治医または医療スタッフにご連絡ください。

## Q1: 予定日に注射を忘れては?

A: 決して2回分を一度に注射せず、気がついたときに1回分を注射してください。次の投与からは、決められた投与間隔となるように、日誌に記載された日付に戻して次の注射を行ってください。決められた予定日から4日間以上にわたって注射を忘れた場合には、主治医または医療スタッフに連絡してください。

## Q2: 予定日に注射できないときは?

A: 予定日に注射できないことが事前にわかっている場合には、主治医または医療スタッフに相談してください。予定日の前後に注射する日をずらすことができます。

## Q3: 注射する時間は一定の方がよいですか?

A: 注射をする時間は何時でも結構です。ただし、注射を忘れないために、一定の時刻に決めて注射をする方がよいでしょう。主治医の指示を受けてください。

## Q4: 使用後のバイアルに薬剤が残っていた場合、次回使用してもよいですか?

A: 使用しないでください。衛生面と薬剤の安定性の面から、使用することはできません。

## Q5: 自宅以外でも注射はできますか?

A: バイアル、注射器、アルコール綿、準備マット、注射日誌、廃棄箱、バイアル回収袋を持っていけば、自宅以外でも注射できます。ただし、安全で清潔な場所で注射してください。また、クリースピーター®の持ち運びには、冷蔵温度を維持するため、保冷バッグと保冷剤をご利用ください。旅行などでは、宿泊場所の冷蔵庫で保管するようにしてください。

### Q6: 自宅での自己注射開始後に、通院時の病院での注射はできますか？

A: 在宅自己注射開始後でも、病院での自己注射、主治医による注射はいずれも可能です。自己注射されていた方が自己注射しなくなった場合、その理由を主治医または医療スタッフに伝えてください。

### Q7: バイアルを破損してしまい、予定していた通院日の前にバイアルが足りなくなってしまうたら？

A: 医療機関へご連絡ください。破損品の対応については主治医または医療スタッフの指示を受けてください。その後、追加のバイアルを受け取ってください。

### Q8: 注射針をぶつけて曲げてしまったり、針先を他のものに接触させてしまったら？

A: その注射器は使用せずに、針先に注意して廃棄箱に入れてください。

### Q9: 針を刺したときに、注射器に血が逆流してきたら？

A: 刺した場所での注射はやめて、針を刺した場所から少なくとも3cm離れた別の部位をアルコール綿でふいて、注射をしてください。

### Q10: 注射をした後はもんだ方がよいですか？

A: 注射した部位をもむとはれることがあるので、もまないでください。アルコール綿で押さえた後、ばんそう膏を貼るのもよいでしょう。

### Q11: 薬液が目や口に入ったら？

A: 目を水で洗い流すか、口を水でゆすぎ、様子を見てください。もし何らかの症状が現れた場合には、主治医または医療スタッフに連絡して指示を受けてください。

### Q12: 注射したところがかゆくなったり、はれたり、出血がなかなか止まらないときは？

A: ご家族の判断でぬり薬などを使用せず、主治医または医療スタッフに連絡して指示を受けてください。

### Q13: 体調が悪いときは？

A: ひどい頭痛や、だるさ、息苦しさを感じる場合など、普段の体調から大きな変化がある場合には、注射をやめて主治医または医療スタッフに連絡し指示を受けてください。

### Q14: 注射の痛みを和らげる方法は？

A: 注射時の痛みを和らげる方法はいくつかあります。患者さんに合う工夫をしてみてください。

- 注射部位の感覚を鈍くするため、注射前に約1～3分間、保冷剤などで注射する場所を冷やす(冷やした後にアルコール綿で消毒する)。
- 薬液が冷たいことで痛みを感じることもあるので、注射前に手のひらで1分程度温める(バイアルを電子レンジや湯せんで温めないでください)。
- 針の刺激時間が長いと痛みを感じやすいため、すばやく針を刺す。
- 注射前に3回深呼吸をし、4回目の深呼吸で息を吐くときに合わせて針を刺し、次の呼吸に合わせて薬液をゆっくりと時間をかけて注射する。
- 薬液を急速に注射すると痛みを感じやすいため、薬液はゆっくりと時間をかけて注射する。

### Q15: 災害や停電が起きた際には？

A: 保冷バッグなどを適宜活用し、クリースビータ®(バイアル)を冷所(2～8℃)へ移動させたのち、主治医または医療スタッフへご相談ください。クリースビータ®(バイアル)を長時間室温で放置した場合、そのバイアルは使用しないでください。災害や停電が起きた際の連絡先や対処方法についてあらかじめ主治医や医療スタッフと相談しておきましょう。

